

福生町広報

発行所 福生町役場

発行兼 福生町役場
編集人 総務課

印刷所 昭和印刷 K K

カレンダー

坊やのつけた

納税日

(東京税務協会入選作)

本紙は町内全世帯に配布します。手に入らない方は役場へ申出下さい。



伸びゆく福生町

(福生駅前通り)

★ 広報発刊によせて ★



福生町長 秋山 誠一

この度久しく休刊して来た町だよりを、町広報として発刊することになりました。広報は町のいろいろな事業や、行事などについてお知らせし、町全体の皆さんに御理解をいただいで、それぞれの立場で御協力を願うため

福生町は、基地のある町として特異の発展をして来ましたが、これからも目ざましい発展が期待されて居ります。従って本格的な町造りはこれからだと思えます。町造りほ単に道路や上下水道などの施設を整えるばかりでなく、教育や衛生の面に於ても、立派な成果をあげるよう努力がなされなければなりません。この点に於て町全体の方々の御協力が必要であります。このような意味で、町当局は広報を通してお知らせし、その反響に注意して指針を誤ることのないよう努力することにより、町と町民との結び付が出来、はじめて広報の役割を果し得るものと信じています。広報発刊に当り、私の考え方と希望を申し述べて各位の御協力をお願いする次第であります。



福生町議会議長 田村 利一

「知らむべからず依らしむべし」とは、封建時代に於ける政治の根幹をなす考へ方であった。民主政治に於いては「如何にして良く知らしめるか」と云うことが重要な施策の一つである。広報の発刊はこの意味から大きな意義をもつものである。広報活動と云うことは、相対以前からあつたのであるが、終戦後占領軍の強い指導によつて発達してきたもので、住民に直結する地方自治行政においては、その重要性が益々痛感せられ、最近全国的に非常な発達を遂げている。当町議会に於いても、広報発行の必要性が二年程前から叫ばれていて、今回その発刊をみたことは町民の皆様と共に慶賀に耐えない。今後広報紙の活動により町民の皆様が町政の内容を良く理解して頂き、町政へのよりよき協力が得られて行くならば円滑な行政の運営と共に、町の益々発展が期待せられることとせう。願はくば町民の皆様が愛される広報紙となり、円満なる成長を広報紙に望むものである。